

2007年4月改訂(第3版)
※2006年6月改訂

日本標準商品分類番号872614

500mL

貯法
「取扱い上の注意」参照
使用期限
包装に表示の使用期限内 に使用すること

オキシフル®液3%

承認番号	21800AMX10066
薬価収載	1950年9月
販売開始	1914年11月
再評価結果	1983年4月

日本薬局方
オキシドール

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)
瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ
込むおそれのある部位

※【組成】

オキシフル液3%：
過酸化水素 (H₂O₂)3w/v%
添加物としてアセトアニリドを含有

【効能・効果】

- 創傷・潰瘍の殺菌・消毒
- 外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎
などの粘膜の炎症
- 口腔粘膜の消毒、齦窩及び根管の清掃・消毒、
歯の清浄、口内炎の洗口

【用法・用量】

- 1.創傷・潰瘍
原液のままあるいは2～3倍希釈して塗布・洗浄する
- 2.耳鼻咽喉
原液のまま塗布、滴下あるいは2～10倍(耳科の
場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈
して洗浄、噴霧、含嗽に用いる
- 3.口腔
口腔粘膜の消毒、齦窩及び根管の清掃・消毒、歯の
清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する
口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する

【使用上の注意】

- 1.重要な基本的注意：長期間又は広範囲に使用しないこと
- 2.副作用(本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確
となる調査を実施していない)
 - (1)重大な副作用
空気塞栓(頻度不明)：空気塞栓を起こすことがあるの
で、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑
われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を
中止し、適切な処置を行うこと
 - (2)その他の副作用
口腔(頻度不明)：連用により口腔粘膜を刺激することがある
- 3.適用上の注意
 - (1)投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと
 - (2)調製時：1)易刺激性の部位に使用する場合には、正常
の部位に使用する場合よりも低濃度とする
ことが望ましい
2)深い創傷に使用する場合は希釈液としては
注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や
精製水を用いないこと
 - (3)使用時：眼に入らないよう注意すること
入った場合には水でよく洗い流すこと
- 4.その他の注意：長期大量経口投与によりマウスの十二指腸
に腫瘍の発生が認められたとの報告がある

【取扱い上の注意】

- 1.小児の手の届かないところに保管すること
- 2.直射日光をさけ、なるべく冷所(30℃以下)に保管する
こと
- 3.使用後は密栓すること
- 4.他の容器に入れかえないこと
- 5.本品は保存条件により瓶内の圧力が高くなっていること
があるので、瓶口を顔にむけぬようにして、キャップを
あけること

※【包装】

オキシフル液3% 500mL

N07

®登録商標

製造販売元
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1
2-2

上記は各製品の容器のレーベルに印刷されるもので、
上記品には添付文書は添付されておりません。